

なかやま あ す か
中山明日香展
empirical garden

会期 = 2011年3月1日(火) - 3月29日(火)

休館日 = 日曜・祝日

開館時間 = 10:00 AM ~ 18:00 PM 入場無料

アーティストトーク開催 = 初日3月1日(火) 6:00 ~ 7:00pm

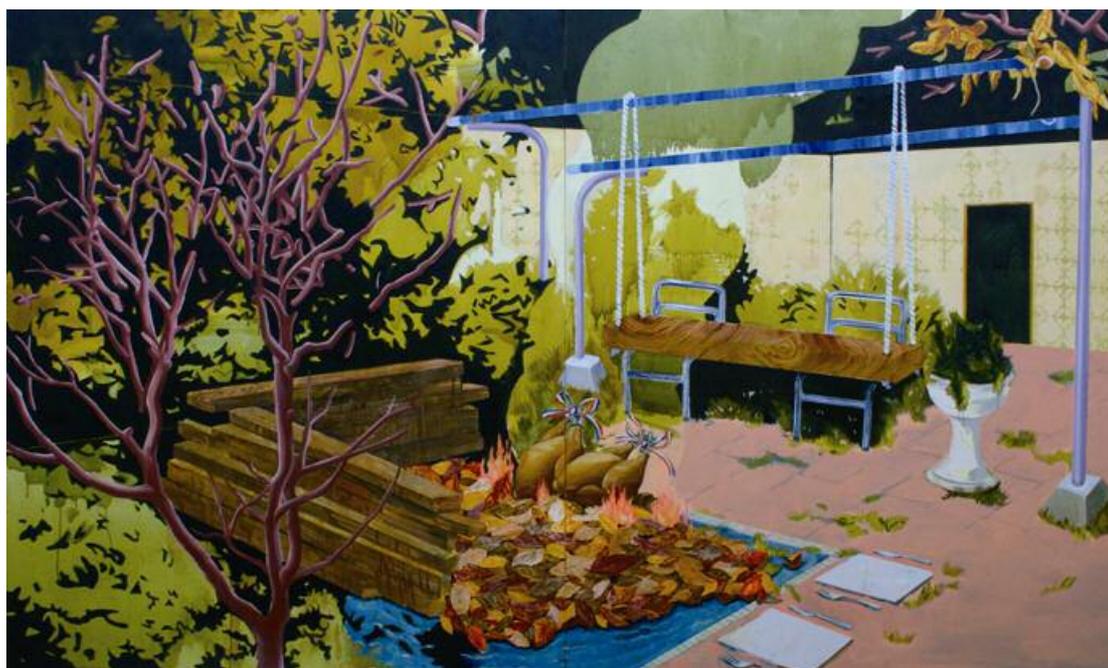
会場 = INAX ギャラリー2

東京都中央区京橋3-6-18 INAX:GINZA2F

TEL03-5250-6530 FAX03-5250-6549

企画・制作 = 株式会社INAX

INAXの文化活動ホームページアドレス <http://www.inax.co.jp/culture/>



「edible garden」2010年230×380cm oil on canvas

画像をご希望の方は、メールにて画像データを送付いたしますのでお申し出ください。
本展告知以外での使用、転載を禁じます。ご使用に際しては撮影者名をお入れください。
容量が足りない場合および、その他の写真については、担当者までお問合せください。

【メール】e.ohashi@i2.inax.co.jp 【担当】大橋恵美

同時開催

INAX ギャラリー1 「日本の客船 タイプトリップ」展 3月3日～5月21日

ギャラリーセラミカ 「松元久子」展 3月4日～3月1日

次回予告

英ゆう 展 2011年4月1日(金)～4月26日(火)平面

INAXギャラリー2は、**中山明日香展 -empirical garden-** (3月1日 - 3月29日) を開催します。

中山明日香の作品は、室内と自然をモチーフに、ひとつの画面にイメージを幾重にも重ねた真昼のように明るい色調が印象的な油絵です。

「edible garden」では、明るいピンク、グリーン、ブルーの色彩が踊る庭に、落ち葉の上で焼かれるクリスマス・チキン、壁紙模様の塀や地面に置かれたテーブルウエアといった室内の風景が重ねられています。反転する色遣いやぺたりと平面的なマチエールが、だまし絵的な非現実感を強調し、日差しは明るいのにどこか怖い物語を見るものに想像させます。

中山の実家の庭をもとに描かれたこの作品には、父のつくったベンチやブランコ、落ち葉焼き、死んだペットを埋葬した同じ庭でバーベキューパーティをするという体験も含めて、動物をペットと食糧に分ける人間の基準を一方的だと感じた思い出も込められています。

祖母の死をきっかけに、人工的につくられる電照菊とお葬式のイメージを重ねた「ceremony for flower」や、家の中にいるように快適なアウトドア用品の矛盾から生まれた「Living with nature」など、いずれも作家自身が実際に体験した日常の不条理、違和感、不可思議が、明朗で清々しい色彩のうちに焙り出されるように表現された作品です。

中山明日香は、現在、京都市立芸術大学の修士課程1年目で、油絵は大学に入ってから描き始めました。当初より空間や奥行きの表現が苦手だったと話しますが、それが逆に、部屋という空間を油絵の具でシールのように平面的に描いて、違和感を描き出すという手法に活かされました。

今展では、2×4メートル大の新作など、壁に画面がいっぱいに広がる大きさの作品を、みるものがそのまま画面の中へ、奥の部屋に入っていくような雰囲気になるよう展示します。モチーフには、昨夏訪れたモロッコの市場の猥雑な生々しさ、食と動物のあやふやな関係にインスパイアされたテーマの新作4点を発表する予定です。

真昼のように明るい夜、無人のうちに宿る人の気配など、若い作家のみずみずしい等身大の今の感覚をぜひ会場でご覧ください。今展が東京では初個展となります。

「中山明日香プロフィール」

1986年 兵庫県生まれ

2010年 京都市立芸術大学美術学部 美術学科 油画専攻卒業

京都市立芸術大学院 美術研究科 絵画専攻入学

展覧会

2010年2月 京都市立芸術大学作品展(京都市美術館) 市長賞

5月 丸の内アートアワードトーキョー(幸行地下ギャラリー)

11月 LOCA展(京都市立術大学内廊下)